

体育祭



桃花校舎・桃陵高校合同体育祭を行いました

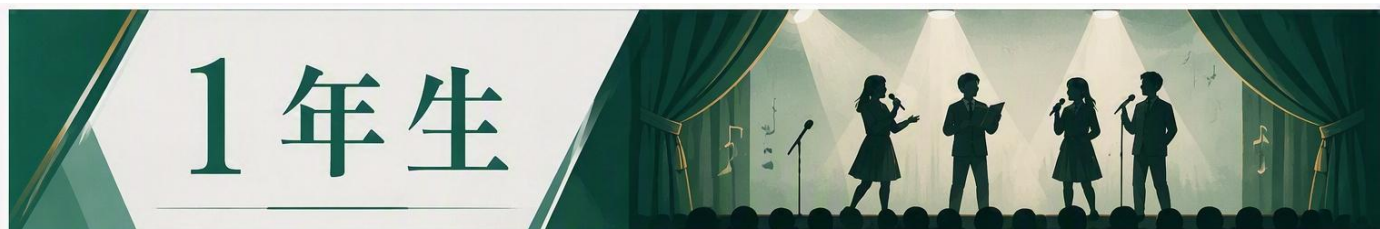
9月10日（木）メディアス体育館おおぶで、桃花校舎と桃陵高校の合同体育祭を行いました。

豪雨の影響で日程が変更され、当日も種目内容の変更や中止となった種目がありました。予定どおりには進まない場面もありましたが、生徒たちはその状況を落ち着いて受け止め、それぞれができることに取り組みながら体育祭を進めました。

会場では、競技に取り組む仲間に声援を送ったり、互いに励まし合ったりする姿が多く見られました。中でも合同リレーでは、桃花校舎と桃陵高校の生徒が互いの走りを応援し、仲間に温かい言葉を掛ける姿が印象に残りました。

競技の結果だけではなく、仲間の頑張りを認め、応援する生徒たちの姿が見られた一日となりました。桃花校舎と桃陵高校の生徒が互いに声を掛け合う、温かい雰囲気の中で体育祭を終えることができました。





1年生は、「挑戦！最高の仲間とともに」のスローガンのもと、舞台発表を行いました。練習ではせりふや動きを確認しながら、一人一人が自分の役割に取り組みました。仲間や先生と練習を重ね、本番を迎えることができました。

本番では、これまで練習したことを生かし、それぞれが自分の役割を最後までやり遂げ、堂々と発表する姿が見られました。また、仲間の演技を見守ったり、終わった仲間を温かく迎えたりする姿も見られました。

1年生にとって、入学してからの初めての桃華祭&桃花祭でした。準備や練習、本番を通して、仲間と協力する大切さや、みんなで一つのものを作り上げる楽しさを感じることができました。生徒たちの思い出に残る桃華祭&桃花祭になりました。





2年生は、「とうカフェ」と題して、桃花校舎20周年をお祝いするカフェを行いました。

「桃花校舎20周年をお祝いする」というコンセプトをもとに、みんなでアイデアを出して、当日まで準備をしていきました。

当日のカフェでは、接客、レジ、キッチンに分かれて行いました。接客では、周りを見て行動し、明るく接客すること、レジでは、丁寧な言葉遣いや確実なお金のやり取り、キッチンでは、注文された商品を確実に用意することを、それぞれ心がけて行いました。それぞれの役割をみんなで協力して取り組んだおかげで、用意した商品をすべて売り切ることができました。

カフェを行ったことで、仲間と協力することの大切さや接客の楽しさ、周りをよく見て行動することなど、多くのことを学び、みんなで協力して1つのものを作り上げる経験をすることができました。

生徒の感想：

「みんなでアイデアを出しながら、1つのものを作り上げる経験をすることができました。自分の考えが採用されることもあってうれしかったです。」

「お客さんがたくさん来て大変なときもありましたが、商品の準備を丁寧にやることができてよかったです。」

「最初お客さんと話すことが不安でしたが、やっていくうちに言い方に慣れて、自信をもって話すことができました。」





3年生は、これまでのコース制授業で製作した製品を販売する「桃花工房」と、ストラップ、アンブレラチャーム、ヘアゴムづくりを体験してもらう「体験班」を行いました。

桃花工房では、木工・紙工・窯業コースで生徒たちが製作した製品を販売しました。生徒たちは店のレイアウトやチラシ、値札づくりから接客練習まで主体的に取り組みました。当日は多くのお客様にご来店いただき、売り切れとなる製品も出るなど、大盛況でした。お客様から温かい言葉をいただく中で、生徒たちは大きな達成感を味わうとともに、今後の活動への自信を深めることができました。



体験班では、生徒たち自身でお客様に体験してもらいたい内容を企画し、準備、運営、接客まで行いました。他学年の生徒や保護者の方をはじめ、桃陵高校の生徒、本校の卒業生、大府小学校の小学生など、様々な方に体験に来ていただき、準備していたパーツが売り切れてしまうほどの大盛況となりました。生徒たちにとって、自分たちで企画したものを提供する貴重な機会となりました。



生徒の感想

「お客様とコミュニケーションをとり、製品の良さや魅力を説明できて良かったです。」（3年生、桃花工房）

「予想以上にお客様がたくさん来てくださり、嬉しかったし、楽しかったです。」（3年生、体験班）